

新卒採用（2013年4月入社対象）に関するアンケート 調査結果の概要

2014年1月9日
一般社団法人 日本経済団体連合会

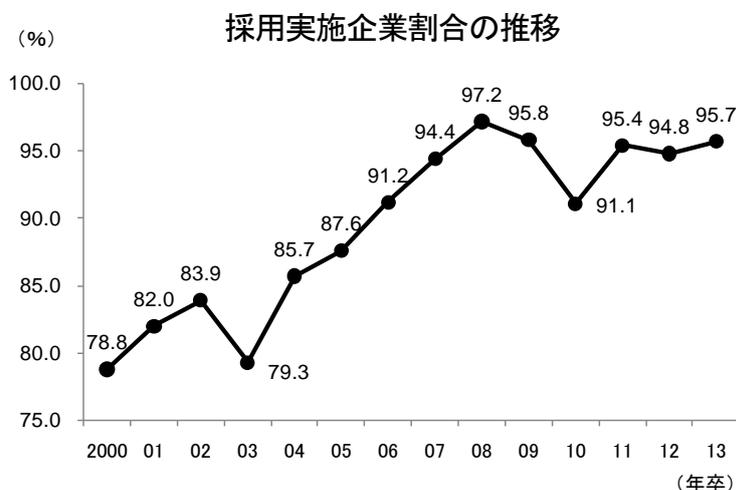
1. 調査要領

- (1) 調査目的：企業の大卒等新卒者の採用選考活動を総括することを目的に、1997年度より実施。
- (2) 調査対象：（一社）日本経済団体連合会企業会員のうち1,301社を対象
- (3) 調査形式：無記名式アンケート（業種・企業規模のみ記入）
- (4) 実施時期：2013年11月
- (5) 回答状況：583社（回答率44.8%）
 - * 製造業46.1%、非製造業53.2%、不明0.7%
 - * 従業員数1,000人以上71.9%、500人以上～1,000人未満14.7%
500人未満12.9%、不明0.5%

2. 調査結果の概要

(1) 採用実施企業割合は2年ぶりに増加

2013年4月入社の採用選考活動を実施した企業割合は95.7%と前回調査より0.9ポイント増え、2年ぶりに増加した。



(2) 就職採用市場に関する評価

就職採用市場に関する評価についての設問では、65.1%が「前年（2012年4月）入社の採用選考活動と変わらなかった」と回答し、最も多かった。

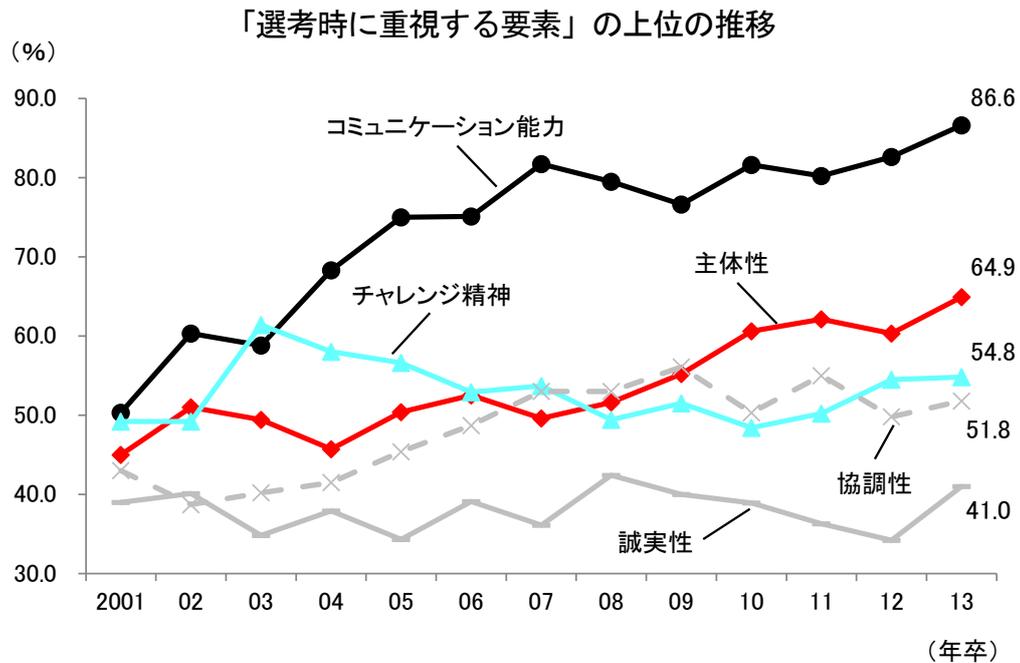
一方、「買い手市場（企業側が有利）であった」とする回答が、前回調査に比べて大幅に減少して5.0%となるとともに、「売り手市場（学生側が有利）であった」とする回答が前回調査より15.7ポイント増加し、28.0%となった。

(3) 学事日程の尊重への対応策

採用選考活動における学事日程の尊重への対応策としては、66.7%が「学生の申し出による採用選考日程の調整や変更」と回答し、最も多かった。

(4) 採用選考時に重視する要素は10年連続で「コミュニケーション能力」が第1位
 企業が選考にあたって重視した点を25項目から5つ回答する設問では、「コミュニケーション能力」が10年連続で第1位となった。「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」、「誠実性」の順に続き、上位5項目には変化がなかった。

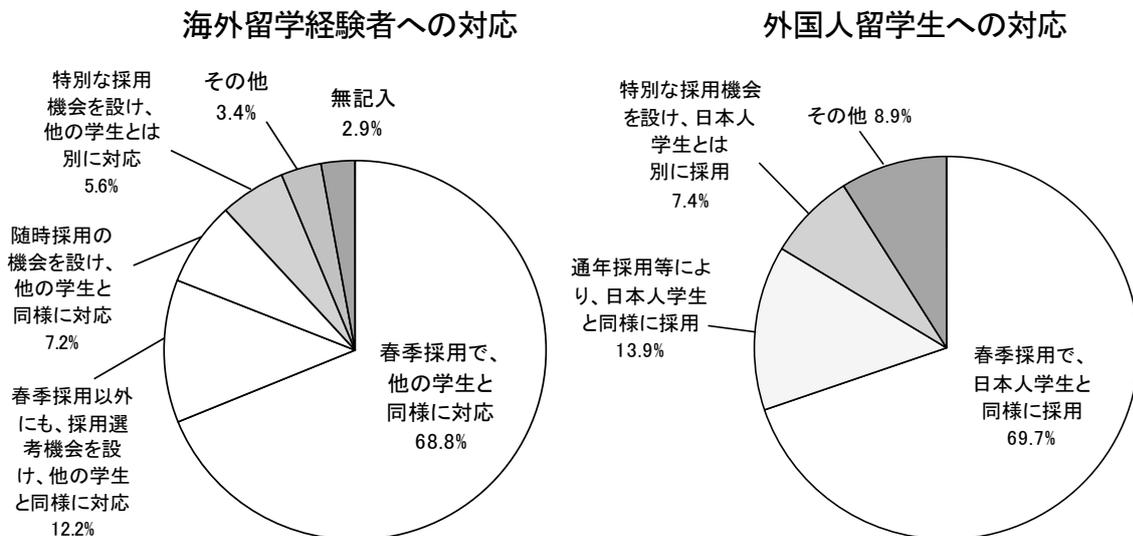
近年、「コミュニケーション能力」と「主体性」の比重がますます高まっており、企業が採用選考にあたって、より重視していることがうかがえる。



(5) 留学生への対応

国内大学在学中の海外留学経験者の採用について、88.2%が「他の学生と同様に
 対応している」と回答した。

また、外国人留学生の採用については、採用を行っている企業のうち69.7%が「春
 季一括採用により、日本人学生と同様に採用している」と回答した。



(6) 既卒者の受け付けや通年採用の実施状況

既卒者の応募受け付けについて、70.7%が「既に実施している」または「今後は実施を予定している」と回答した。このうち、84.2%が新卒採用と同様の扱いで受け付けている。受け付けの条件について、条件を設けている企業のうち76.3%が「卒業後3年以内であること」と回答し、最も多かった。

また、新卒者に対する通年採用の実施について、44.8%が「実施している」または「今後は実施を予定している」と回答した。

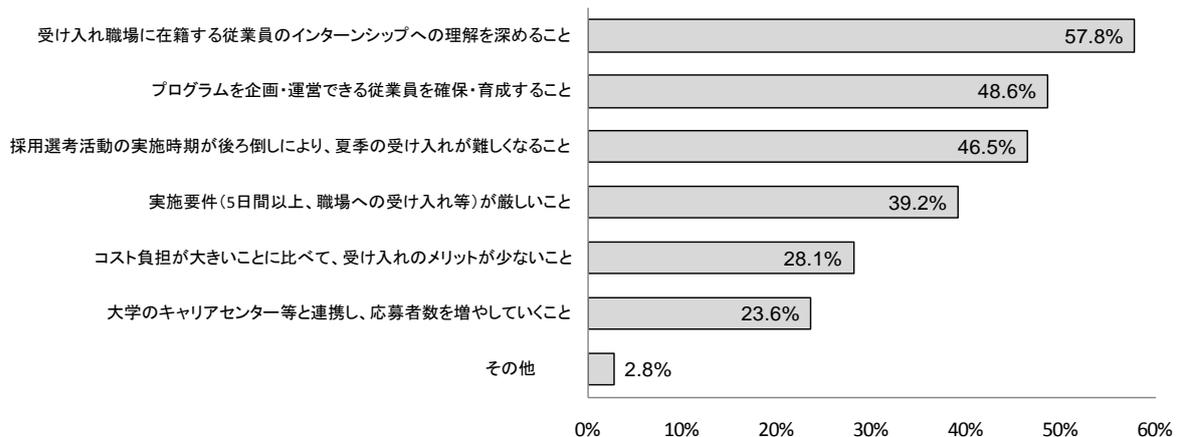
(7) インターンシップの実施状況と課題

インターンシップを「既に実施している」企業は58.5%あり、このうち94.1%の企業が「採用選考活動とは一切関係ないことを明確にして行った」と回答した。

また、2012年度の学生の受け入れ人数について、28.7%が前年度と比べて「増加した」と回答しており、「今後、受け入れ人数を増やしていく」と回答した企業も27.3%となっている。

学生の受け入れを増やしていくうえでの課題については、57.8%の企業が「受け入れ職場に在籍する従業員のインターンシップへの理解を深めること」と回答し、最も多かった。

インターンシップにおける学生の受け入れ人数を増やしていくうえでの課題



(8) 採用基準の明確化や採用情報の明示

採用基準の明確化について、「必要と考えている」企業は93.1%あり、このうち60.6%が「明確化に努めている」と回答した。

また、採用情報の明示については、76.2%が「必要と考えており、明示に努めている」と回答した。

以上